

1. 科目名（単位数）	社会保障論（4 単位）		3. 科目番号	SSMP2105
2. 授業担当教員	梁 昕怡			
4. 授業形態	講義、学生発表、グループディスカッション、演習		5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係				
7. 講義概要	本科目では、社会保障を構成している年金、医療、介護、雇用、労災保険を中心に、各制度の沿革にまでさかのぼり、理論的に解説する。そのことにより社会福祉の現場で働く場合に必要となる社会保障に関する専門的かつ正確な知識を体得する。 社会保障の理念や範囲、期待する社会保障の機能などは国によって異なっており、その相違が主に市場経済の構造や社会的慣行にあるとすれば、今後、わが国が豊かな社会保障を構築するためにどのような条件整備を進めていくべきかを探っていく必要がある。 シラバスに即して進行するので、学生は事前事後の家庭学習と組み合わせて、毎週確実に単元の内容を習得していくことになる。主体的自発的学習促進の観点から、授業時にはグループ討議や発表を組み入れる。			
8. 学習目標	1 社会保障制度の体系、機能について理解し、説明できるようになる。 2 社会保障給付に関する費用の使途と財源について理解し、説明できるようになる。 3 少子高齢化の状況と労働力問題について理解し、説明できるようになる。 4 社会保障制度の沿革と今後の方向性について理解し、説明できるようになる。 5 5種類の社会保険（年金・医療・介護・雇用・労災）について理解し、説明できるようになる。			
9. アサイメント（宿題）及びレポート課題	別途通知。			
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集『最新 社会福祉士養成講座精神保健福祉士養成講座 7 社会保障第2版』中央法規出版、2025 【参考書】 『新・社会福祉要説』『保育児童福祉要説』『教職科目要説（初等教育編・中等教育編）』.			
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 8の学習目標の達成度を基準に成績評価を行う。 ○評定の方法 1.論述力の確認。期末試験、課題レポート、予復習提出分などで評価。50% 2.発表力。課題レポート内容の発表、授業中の発言の積極性などで評価。50% 上記1および2を総合判断して行う。			
12. 受講生へのメッセージ	1 授業内容は一般的にレベルが高いため、常に緊張感と集中力をもって受講すること。 2 思考力、創造力、問題解決能力を高めるためにも、積極的な態度で授業に臨むこと。 3 私語は厳禁である。授業に関係ないスマートフォン等の使用もしないこと。 4 授業が始まってからは、勝手に退室しないこと。退室には必ず許可をとること。			
13. オフィスアワー				
14. 授業展開及び授業内容				
講義日程	授業内容		学習課題	
第1回	現代社会と社会保障①	事前学習	テキスト1章を読んでおくこと。	
		事後学習	少子高齢化、経済政策と社会保障の課題について説明できるようにしておくこと。	
第2回	現代社会と社会保障②	事前学習	テキスト1章を読んでおくこと。	
		事後学習	雇用・労働政策と社会保障の課題について説明できるようにしておくこと。	
第3回	社会保障の概念や対象及びその理念①	事前学習	テキスト2章を読んでおくこと。	
		事後学習	社会保障の概念と範囲について説明できるようにしておくこと。	
第4回	社会保障の概念や対象及びその理念②	事前学習	テキスト2章を読んでおくこと。	
		事後学習	社会保障の役割と意義について説明できるようにしておくこと。	
第5回	社会保障の概念や対象及びその理念③	事前学習	テキスト2章を読んでおくこと。	
		事後学習	社会保障の理念と対象について説明できるようにしておくこと。	
第6回	社会保障の概念や対象及びその理念④	事前学習	テキスト2章を読んでおくこと。	
		事後学習	日本の社会保障の沿革について説明できるようにしておくこと。	
第7回	社会保障の財政①	事前学習	テキスト3章を読んでおくこと。	
		事後学習	社会保障の財源について説明できるようにしておくこと。	
第8回	社会保障の財政②	事前学習	テキスト3章を読んでおくこと。	
		事後学習	社会保障支出の規模と動向などについて説明できるようにしておくこと。	

第 9 回	社会保障の財政③	事前学習	テキスト 3 章を読んでおくこと。
		事後学習	国民負担率の定義について説明できるようにしておくこと。
第 1 0 回	社会保障の財政④	事前学習	テキスト 3 章を読んでおくこと。
		事後学習	社会保障の経済効果について説明できるようにしておくこと。
第 1 1 回	社会保険・社会扶助・民間保険の関係①	事前学習	テキスト 4 章を読んでおくこと。
		事後学習	保険と扶助の理念について説明できるようにしておくこと。
第 1 2 回	社会保険・社会扶助・民間保険の関係②	事前学習	テキスト 4 章を読んでおくこと。
		事後学習	社会保険と社会扶助の概念について説明できるようにしておくこと。
第 1 3 回	社会保険・社会扶助・民間保険の関係③	事前学習	テキスト 4 章を読んでおくこと。
		事後学習	自助、共助、公助について説明できるようにしておくこと。
第 1 4 回	社会保険・社会扶助・民間保険の関係④	事前学習	テキスト 4 章を読んでおくこと。
		事後学習	社会保険と民間保険の違いについて説明できるようにしておくこと。
第 1 5 回	社会保障制度の体系（医療保険制度の概要）①	事前学習	テキスト 5 章 1 節を読んでおくこと。
		事後学習	公的医療保険の体系と類型について説明できるようにしておくこと。
第 1 6 回	社会保障制度の体系（医療保険制度の概要）②	事前学習	テキスト 5 章 1 節を読んでおくこと。
		事後学習	保険給付の種類と内容について説明できるようにしておくこと。
第 1 7 回	社会保障制度の体系（医療保険制度の概要）③	事前学習	テキスト 5 章 1 節を読んでおくこと。
		事後学習	医療保険の各制度の財源と保険財政について説明できるようにしておくこと。
第 1 8 回	社会保障制度の体系（医療保険制度の概要）④	事前学習	テキスト 5 章 1 節を読んでおくこと。
		事後学習	日本医療保険制度の特徴について説明できるようにしておくこと。
第 1 9 回	社会保障制度の体系（介護保険制度の概要）①	事前学習	テキスト 5 章 2 節を読んでおくこと。
		事後学習	介護保険制度の沿革について説明できるようにしておくこと。
第 2 0 回	社会保障制度の体系（介護保険制度の概要）②	事前学習	テキスト 5 章 2 節を読んでおくこと。
		事後学習	介護保険制度の概要について説明できるようにしておくこと。
第 2 1 回	社会保障制度の体系（年金制度の概要）①	事前学習	テキスト 5 章 3 節を読んでおくこと。
		事後学習	年金制度に概要と沿革について説明できるようにしておくこと。
第 2 2 回	社会保障制度の体系（年金制度の概要）②	事前学習	テキスト 5 章 3 節を読んでおくこと。
		事後学習	年金の給付について説明できるようにしておくこと。
第 2 3 回	社会保障制度の体系（年金制度の概要）③	事前学習	テキスト 5 章 3 節を読んでおくこと。
		事後学習	年金の財政について説明できるようにしておくこと。
第 2 4 回	社会保障制度の体系（年金制度の概要）④	事前学習	テキスト 5 章 3 節を読んでおくこと。
		事後学習	企業年金と個人年金について説明できるようにしておくこと。
第 2 5 回	社会保障制度の体系（労災保険制度と雇用保険制度の概要）①	事前学習	テキスト 5 章 4 節を読んでおくこと。
		事後学習	労災保険制度の概要について説明できるようにしておくこと。
第 2 6 回	社会保障制度の体系（労災保険制度と雇用保険制度の概要）②	事前学習	テキスト 5 章 4 節を読んでおくこと。
		事後学習	雇用保険制度の概要について説明できるようにしておくこと。
第 2 7 回	社会保障制度の体系（生活保護制度の概要と社会手当制度の概要）	事前学習	テキスト 5 章 5、6 節を読んでおくこと。
		事後学習	生活保護制度と社会手当制度の概要について説明できるようにしておくこと。
第 2 8 回	社会保障制度の体系（社会福祉制度の概要）	事前学習	テキスト 5 章 7 節を読んでおくこと。
		事後学習	社会福祉制度の概要について説明できるようにしておくこと。
第 2 9 回	諸外国における社会保障制度①	事前学習	テキスト 6 章を読んでおくこと。
		事後学習	イギリスの社会保障について説明できるようにしておくこと。
第 3 0 回	諸外国における社会保障制度②	事前学習	テキスト 6 章を読んでおくこと。
		事後学習	人口構成の変化が社会保障に与える影響について説明できるようにしておくこと。